

松戸市長 本郷谷 健 次 様

我孫子市議会議長 川 村 義 雄

手賀沼終末処理場への焼却灰持ち込みに関する要望書

貴職におかれましては日頃より自治体運営にご尽力をされていることに心より敬意を表します。

さて、昨年の中日本大震災により引き起こされた福島第一原子力発電所の事故による放射能汚染の影響で、私たちの千葉県北西部においても様々な行政課題が生じています。まさに、広域的な課題として各自治体が連携をしながら課題解決に取り組まなければなりません。

そのような状況の中で、我孫子市・印西市にまたがる「手賀沼終末処理場」では、放射性物質を含む汚泥焼却灰が毎日4～5t排出され、同施設内に保管され続けています。その数量は平成24年10月現在で2,000tにのぼります。ご承知の通り、この施設は流域7市（我孫子市・印西市・柏市・流山市・松戸市・白井市・鎌ヶ谷市）の終末処理場であり、下水道からの放射能汚染焼却灰を広域的に保管する施設となっています。

ここにさらに、御市の一般ごみからの放射性物質を含んだ焼却灰を持ち込むことは、我孫子・印西両市で2つの広域的な放射性物質（下水道及び一般ごみ）を保管することであり、両市にとってあまりに負担が大きく、市民の理解を得られるものではありません。

まして、千葉県内の最終処分場候補地はいまだ決まらず、事実上この場所が最終保管場所になる懸念も拭いきれません。また、千葉県が示した保管方法は焼却灰を仮設倉庫にフレコンバッグで積み上げるもので、安全性の面からも市民に不安を与え続けています。10月に我孫子市民が行った白紙撤回を求める署名運動でも16,000名を超える署名が集まっています。

つきましては、以下の通り要望いたしますので、ご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1. 最終処分場の確約（自治体の同意必要）がない中で、手賀沼終末処理場への焼却灰の持ち込みは行わず、自区内処理を進めること。
2. 手賀沼終末処理場以外の候補地を提示することを千葉県に求めること。